

文化遺産総合活用推進事業 実施報告

1 都道府県・市区町村名	鹿児島県	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」集成館事業活用事業		
4 実施計画期間	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度		
5 過去の補助事業実績			
平成 23 年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業			千円
平成 24 年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業			千円
平成 25 年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成 26 年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成 27 年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成 28 年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成 29 年度文化遺産総合活用推進事業			千円
平成 30 年度文化遺産総合活用推進事業		12,569	千円
6 計画の実施状況（概要） <small>※平成30年度までに実施した計画の実施状況を記載してください。</small>			
<p>1 「明治日本の産業革命遺産」全体の価値と集成館事業の役割、第二期集成館事業に関するAR・VRを活用した多言語解説機能を備えたコンテンツを制作した。</p> <p>2 1のコンテンツを活用し、来訪者に第一期集成館事業と第二期集成館事業の変遷をわかりやすく理解してもらう取組として、シンポジウムを平成31年2月に開催した。</p>			
vr	別紙①②のとおり		
8 事業実施による効果等 <small>※平成30年度までの計画の実施により得られた効果や実施以後の状況（人数、理解度、活用状況、人材育成などの指標に基づき、定量的・定性的な効果）を具体的に記載してください。</small>			
<p>当事業で作成するコンテンツは平成31年3月公開であることから、コンテンツ制作による効果測定・分析は今後実施する予定である。2月に実施したシンポジウムについては、180人が参加し、アンケートでは、第一期集成館から第二期集成館への変遷について、とても理解が深まったと回答した割合が全体の48%、理解が深まったと回答した割合が全体の44%に上り、両方で92%を占めた。このことから、ARを活用した多言語解説機能を備えたコンテンツを制作し、これを活用したシンポジウムを開催することで、本県に所在する「明治日本の産業革命遺産」の構成資産「旧集成館」における集成館事業の役割、第一期集成館事業と第二期集成館事業の歴史的背景と技術的変遷について、来訪者の理解をさらに深めることができたと考えられる。</p>			
9 得られた効果の検証・分析			
<p>当計画実施により「明治日本の産業革命遺産」における集成館事業の役割、第一期集成館事業と第二期集成館事業の関係性とその変遷への理解が深まることで、保全への意識が向上し、当遺産の保存と次世代への確実な継承が期待できる。また、まちづくり団体、学生で構成される団体及びボランティアガイドと連携して当事業を実施したことにより、遺産の所在する地域における交流人口の増加、活性化に貢献することが期待される。</p> <p>今後は、今年度作成したコンテンツを活用したガイドテキスト等を作成するなど、集成館地区で活動するガイドの遺産価値への理解をさらに深め、説明能力の向上を図り、来訪者の遺産への理解をさらに深める取組を進める予定である。</p>			
10 総括評価結果 <small>※実施計画期間終了の翌年度における総括評価の結果を定量的・定性的な側面から具体的に記載してください。</small>			

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙

具体的な指標 1 :	集成館地区への来場者総数				関連事業:	①, ②, ③		
目標値 1 :	平成 29 年度	440,000 (人)		⇒	平成 32 年度	466,400 (人)		
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度			
(人)	(人)	698,894 (人)	(人)	(人)	(人)	(人)		
		981%						

様式 1 - 2 別紙②

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙（関連事業）

事業①：	世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」構成資産アプリコンテンツ作成事業					実施団体：	「明治日本の産業革命遺産」集成館事業活用事業実行委員会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 30 年度				
事業概要：	集成館事業に関するARを活用した多言語対応のスマートフォンアプリに、「明治日本の産業革命遺産」全体の価値と集成館事業の役割及び第二期集成館業に関するARを活用した多言語解説機能を備えたコンテンツを追加するとともに、それらのコンテンツを活用し、来訪者に第一期集成館事業と第二期集成館事業の変遷をわかりやすく理解してもらうための取組を行う。										
具体的な指標：	集成館事業に関するスマートフォンアプリコンテンツへのアクセス数										
目標値：	平成 29 年度		0 (PV)		⇒	平成 32 年度		5,000 (PV)			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成	年度	平成	年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度				
	(PV)		(PV)	- (PV)	(PV)	(PV)	(PV)				
				平成 31 年度から 集計							
事業②：	世界遺産シンポジウム開催事業					実施団体：	「明治日本の産業革命遺産」集成館事業活用事業実行委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 30 年度				
事業概要：	ARアプリのコンテンツを活用し、「明治日本の産業革命遺産」の価値と集成館事業の役割や、第一期集成館事業から第二期集成館事業への歴史的背景、技術的推移についての理解を深める。										
具体的な指標：	シンポジウム参加者に対するアンケートによる集成館の価値と変遷に対する関心・理解度の深まり										
目標値：	平成 29 年度		0 (%)		⇒	平成 32 年度		80 (%)			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成	年度	平成	年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度				
	(%)		(%)	92 (%)	(%)	(%)	(%)				
				115%							
事業③：	集成館通訳ガイドレベルアップ事業					実施団体：	「明治日本の産業革命遺産」集成館事業活用事業実行委員会				
事業区分：	人材育成					事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 32 年度				
事業概要：	集成館通訳ガイド向けに、ARアプリを活用した集成館事業の解説に関するテキストを作成するとともに、同テキストを活用したレベルアップ研修を実施し、インバウンドの受入体制を整備する。										
具体的な指標：	レベルアップ研修受講者で、研修終了後に活動する者の数。										
目標値：	平成 29 年度		0 (人)		⇒	平成 32 年度		20 (人)			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成	年度	平成	年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度				
	(人)		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)				

※ 事業の実施状況に応じて、適宜追加・削除してご使用ください。